

作成日 2016年06月15日
改訂日 2017年10月04日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	FR フェルト
会社名	チヨダウーテ株式会社
住所	〒510-8570 三重県三重郡川越町高松 928 番地
担当部門	技術本部
電話番号	059-363-5555
FAX 番号	059-363-5553
推奨及び使用上の制限	隙間充填材としての使用を推奨する。
整理番号	No.CU-181

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

※記載の無いものは、区分外/分類対象外/分類できない の何れかに該当する。

GHS ラベル要素

注意喚起語なし
危険有害性情報なし

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書(SDS)を入手すること。
すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない事。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避ける事。

【応急処置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受ける事。

【保管】

火気及び水漏れを避ける事。

【廃棄】

当該製品及び包装材料を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に委託して廃棄する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
-------------	-----

・テープ部分

粘着剤：アクリル酸エステル共重合体
基材：紙
離型紙：紙、ポリエチレン、シリコン

・ウール部分

化学名又は一般名 (主成分)	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
ロックウール繊維	CaSO ₄ ・2H ₂ O	該当しない	該当しない
セルロースなど補強材、結合剤	—	該当しない	該当しない
アルミニウム水溶性塩	Al ₂ (SO ₄) ₃	1-25	10043-01-3

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、清浄な水でうがい、洗浄を行い除去する。 呼吸症状などが出た場合は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	清浄な水と石鹼で洗う。痛みが続く場合は、医師の診断を受ける事。
眼に入った場合	水で数分間水洗する。コンタクトレンズを容易に外せる場合は、外して洗う事。刺激が続く場合、医師の診断を受ける事。
飲み込んだ場合	吐かせた後、医師の診断を受ける事。

5. 火災時の措置

消火剤	通常の消火剤（水、炭酸ガス、泡、粉末）
使ってはならない消火剤	特になし
特有の危険有害性	火災によっては、テープ部分から刺激性、CO、NO _x を発生する恐れがある。
消火を行う者の保護	防火服／防災服／耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	床面にこぼれた場合、眼に入らない様に粉塵の飛散に注意して回収する。
保護具及び緊急時措置	作業時は必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出物を直接河川や下水に流さない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は箒等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	粉塵を吸入しないよう、必要に応じて個人保護具を着用する。使用条件下での水分変化を避ける。
安全取扱注意事項	使用前に取扱説明書を入手する。 取扱う前に全ての安全注意を読み、理解する。
接触回避	必要に応じ、保護手袋、防護メガネ、防塵マスクなどを着用する。
衛生対策	作業後は洗顔、手洗を行うこと。 この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染された衣類は、再使用する場合は洗濯する。

保管

安全な保管条件 水漏れを避け、常温常湿の屋内で施錠して保管する。
直射日光・高温の場所を避ける。

安全な容器包装材料 特になし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 鉱物性粉塵の遊離計ケイ酸含有率 0%として、
吸入性粉塵管理濃度 3.0mg/m³

許容濃度 日本産業衛生学会（2014年版）

区分	対象材料	吸入粉塵	総粉塵
第二種粉塵	結晶性シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵 (ロックウール)	mg/m ³	
		1	4

個別の成分として、
ロックウール繊維許容濃度 1 繊維/mL(TWA)

設備対策 局所排気装置などの設置。(取扱い及び使用時に粉塵の飛散があるとき)

保護具

呼吸用保護具 状況に応じて使用

手の保護具 状況に応じて使用

眼の保護具 状況に応じて使用

皮膚及び体の保護具 両手足の肌を隠す作業着が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	乾燥したシート状の固体
臭い	無臭
融点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
比重	0.23~0.33g/cm ³
溶解度	ほぼ溶けない
発火点	200~500℃
分解温度	—
熱間収縮温度	—

1 0. 安定性及び反応性

反応性，化学的安定性	通常の取扱い条件で安定
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	火気、高温多湿、直射日光など。
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	知見なし

1 1. 有害性情報

急性毒性	粉塵の中に吸引性繊維が含まれるため、長時間にわたり多量に吸引した場合、呼吸器系障害を生じる恐れがある。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚に付着した場合、かゆみや紅斑を生じることがあるが、一過性で慢性障害を生じることはないとされている。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	眼に入った場合、物理的な刺激作用がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	ロックウールはグラスウールと共に IARC (国際がん研究機関) では、グループ 3 (人に対する発がん性が分類できない) とされている。
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性，単回ばく露	情報なし
特定標的臓器毒性，反復ばく露	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	混合物としての知見なし
残留性・分解性	混合物としての知見なし
生体蓄積性	混合物としての知見なし
土壤中の移動性	混合物としての知見なし
オゾン層への有害性	混合物としての知見なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	なし
品名(国連輸送名)	なし
国内規制	

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

梱包材料が破損しないように、水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法	分類基準に該当しない。
安衛法	法第 57 条の 2 314 「人造鉱物繊維（ロックウール）」 37 「アルミニウム性水溶塩」 168 「鉱油」
毒劇法	分類基準に該当しない。
粉じん障害防止規則	第 2 条別表第 1 に掲げる作業に限る。
作業環境測定法	粉じん障害防止規則第 25 条に該当する作業に限る。
じん肺法	じん肺法施行規則第 2 条に該当する作業に限る。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	該当する。

16. その他の情報

この資料は取扱い及び使用者に対して、適切な警告と安全な取扱い法を、参考情報として提供するものです。情報は出来る限り正確なものであるよう努めておりますが、使用される環境及び条件については、弊社がコントロールできないため、この使用によって直接的または間接的に損失、もしくは損害を生じたとしても弊社はいかなる責任も負いません。取扱いに関しましては、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。したがって、本データシートは安全保証書ではありません。

参考文献

- ・ 許容濃度などの勧告(2014年度) 産業衛生学雑誌 Vol.56,162(2014)
- ・ ロックウール工業会：ロックウール製品の特性と取扱い(2014年)
- ・ 化学物質排出把握管理促進法 (METI-経済産業省)
- ・ JIS Z 7253 : 2012 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル
- ・ 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- ・ NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(化学物質総合情報提供システム)
- ・ よくわかる SDS ラベル作成実務入門(GMS、JIS Z 7253 対応)

※原材料の毒性情報については、原材料メーカーからの情報を引用した。